

1-B-11.

ハウス食品(株)及びヤマト運輸(株)宅急便 関東～九州間の鉄道活用 <ハウス食品(株)>

1. 概要

シフトした輸送機関	トラック ⇒ 鉄道
輸送ルート	福岡 → 東京
主な対象貨物	加工食品、宅急便
導入時期	2003年11月
月間取扱貨物量	3,000トン/年(片方)
荷姿	段ボール箱
出荷頻度	ほぼ毎日

2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

1) 実施理由

- ・ 輸送コストの削減
- ・ 環境問題への対応

2) 狙い

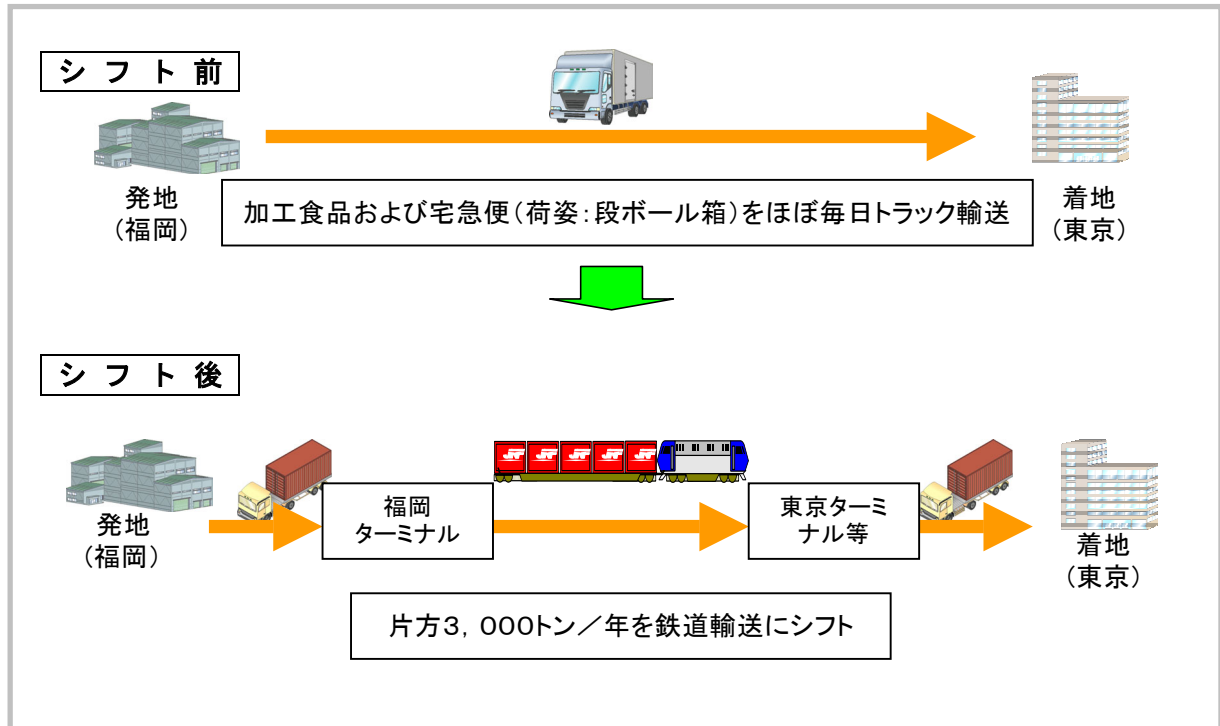
- ・ CO2 排出削減とコスト低減

3. 対策効果

項目	対策効果 (実施前を100とした場合の実施後の数値: 実施後/実施前×100)
輸送コストの対策効果	1.5%コストダウン
所要時間の対策効果	0%変わりなし
トラック使用台数の対策効果	100%変換
トラック台キロの対策効果	96%低減
燃料使用量(又はCO2 排出量)の対策効果	85%低減

- ・ トラック便に比べCO2 排出量を削減できた

4. 事業内容



5. 課題

- ・トラックとコンテナのCO₂ 排出基準が一定していないことから数値評価が全体的に統一できていない